

# 高岡漆器

慶長14年(1609年)前田利長が高岡城を築き、漆器を作らせたのが始まりだよ。勇助塗・彫刻塗・青貝塗の3技法が代表的で、高岡御車山にはその技術が結集されているよ。

みんなの身の回りの漆器を探してみよう！

たとえば、みんなが使っている「高岡市の給食トレー」にも漆が使われているよ。  
また、陶磁器が英語でチャイナと呼ばれるのに対して、漆は「japan (ジャパン)」  
と呼ばれ、日本を代表する工芸品だよ。



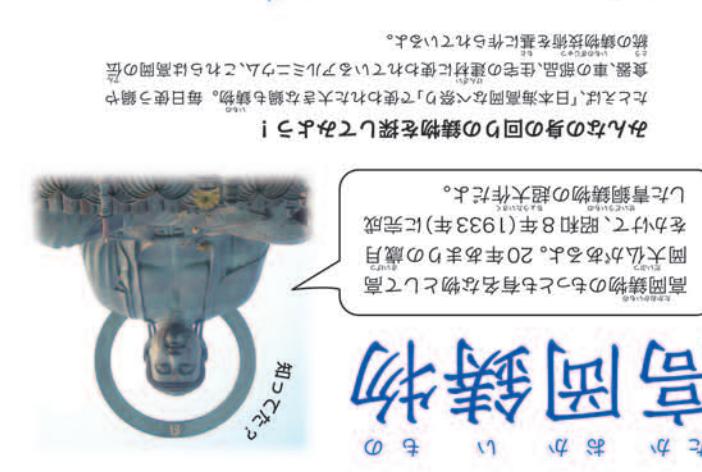
“うるし”は、漆の木を傷つけたときそこからにじみ出てくる樹液を採取した天然の材料だよ。



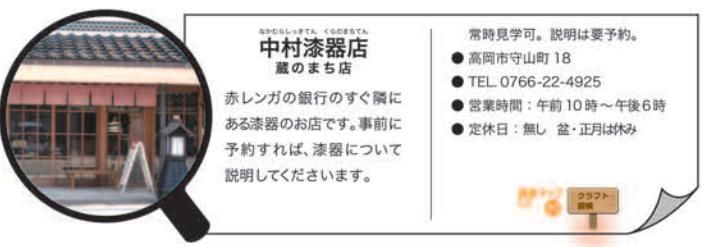
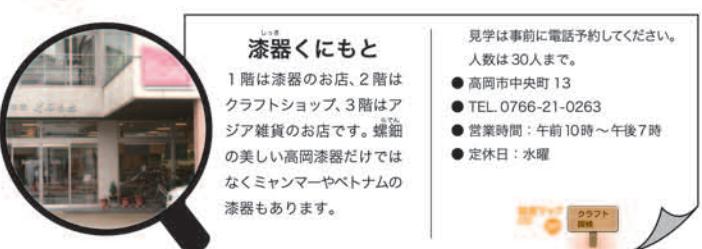
漆器のお椀は欠けたり、ヒビが入ったり、変色しても、職人さんの手で何度も直して使えるよ。



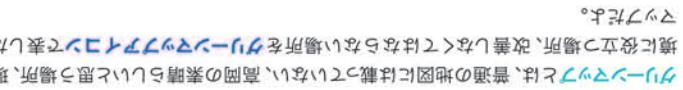
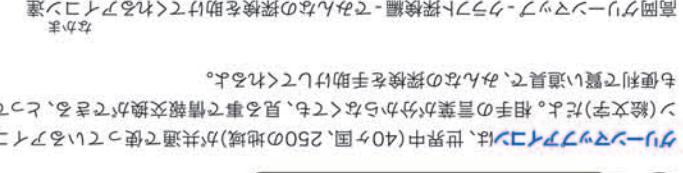
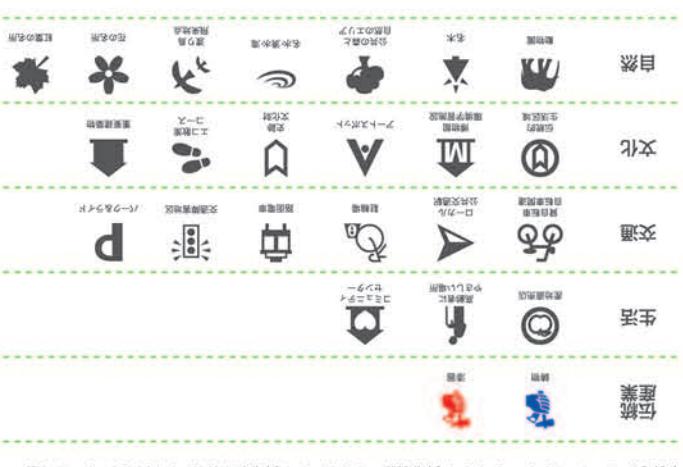
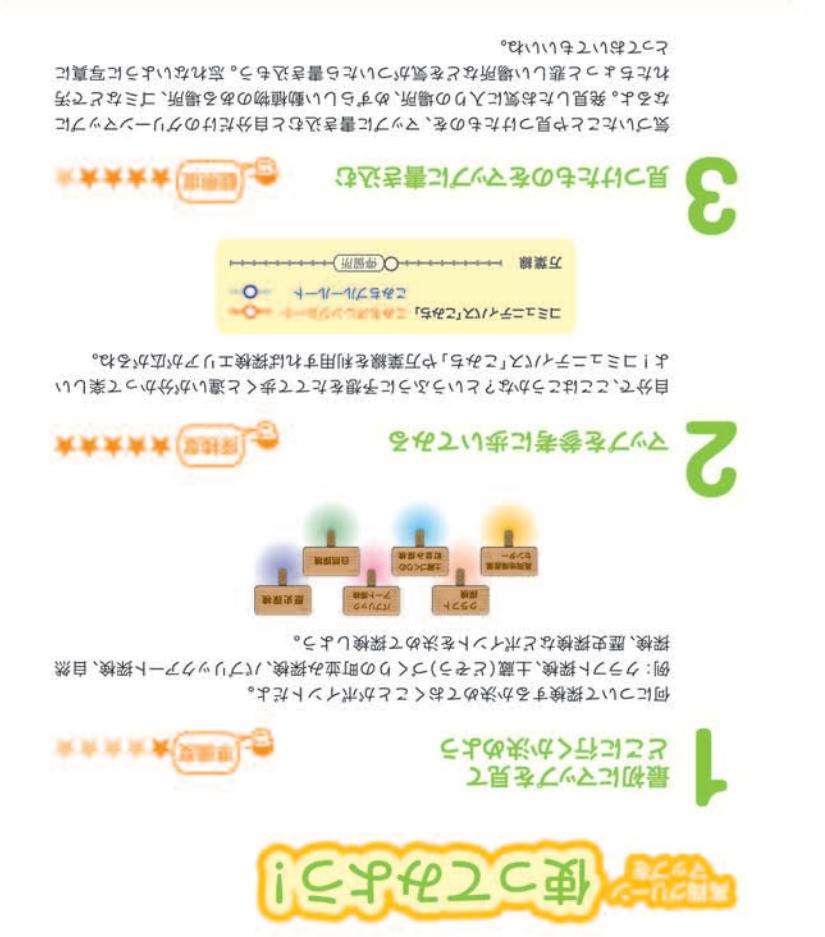
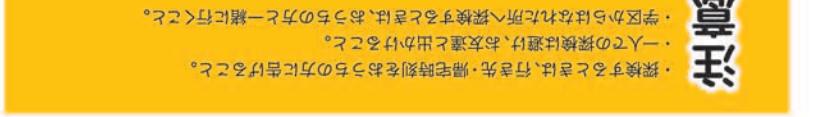
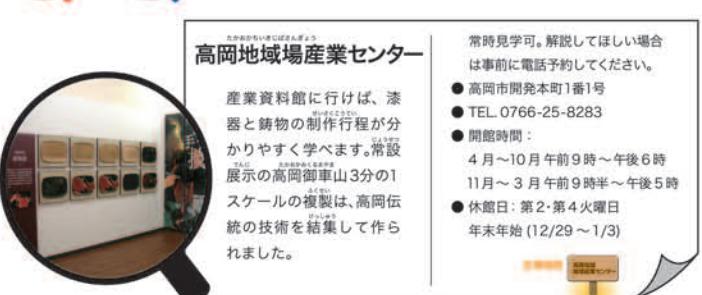
漆のお椀は、熱を伝えにくいので熱い汁物を入れても手に持つときに熱くないよ。



**漆器を探検するなら**



**漆器と鋳物を同時に探検するなら**



# TAKAOKA GREEN MAP

## 高岡の鋳物と漆器

この高岡の全体の地図には、鋳物産業と漆器の分布が載っています。たくさんの職人さんが、地域の産業を支えています。みんなのお家の近くにも職人さんがいるかもしれませんね。

伝統産業・鋳物

伝統産業・漆器

※表示しているすべてのアイコンが実地で見られるとは限りません

